

地盤工学会中部支部

第35回調査・設計・施工技術報告会

- 主催：(公社)地盤工学会中部支部
共催：(一社)建設コンサルタンツ協会中部支部 <予定>
(一社)中部地質調査業協会 <予定>
後援：(一社)日本建設業連合会中部支部 <予定>
(一社)日本応用地質学会中部支部 <予定>



技術者・実務者が一堂に会して意見・情報交換を行う場である「第35回調査・設計・施工技術報告会」を開催します。調査・設計・施工技術に関する16件の発表、東京大学宇宙線研究所の竹田敦先生による特別講演が行われます。皆様お誘いあわせのうえ、奮ってご参加ください。

-
- 開催日時：令和8年6月5日(金) 9:00～17:40
会場：名古屋大学 ES 総合館 1階 ES ホール (対面形式のみで開催)
参加費：正会員 (特別会員含む) 3,000 円, シニア会員 2,000 円, 学生 1,000 円
共催・後援団体会員 3,000 円, 非会員 6,000 円 (いずれも消費税込み)
※シニア会員とは60歳以上の個人会員を指す中部支部独自の呼称です。
※本行事では中部支部独自の特別会員に対する特典をご利用いただけます。
詳細は中部支部のホームページ (<http://jgs-chubu.org/tokuten/>) をご覧ください。

- G-CPDポイント：6.0ポイント <予定>
懇親会参加費：4,500円 (消費税込み) ※懇親会参加費は当日のお支払いをお願いいたします。

【プログラム】 [総合司会：中井 健太郎 (名古屋大学)]

9:00 - 9:10 開会挨拶：地盤工学会中部支部 支部長 神谷 浩二

9:10 - 10:30 第1セッション [司会：藤井 淳之 (鹿島建設(株))]

(1-1) 名神高速道路一宮地区渋滞多発区間における対策工事及びその効果について

中村 耕一郎, 黒川 正弘, 中田 智之 (中日本高速道路(株))

(1-2) 既設配管ラック下の低所における回転杭の施工について

川島 知之, 小林 且典 (東邦ガス(株))

(1-3) 東富士五湖道路の空洞化対策事業概要と維持管理

中島 康介, 藤岡 一頼, 早野 智彦, 柄澤 隆大, 杉澤 大達 (中日本高速道路(株))

田坂 真智 (中日本ハイウェイ・エンジニアリング東京(株))

(1-4) 傾倒した締切矢板の本設護岸への活用

中嶋 亮太, 新谷 裕美, 釘持 将人, 中村 宏樹, 岡田 直也 (㈱建設技術研究所)

10:30 - 10:40 休憩

10:40-12:00 第2セッション [司会：菊地 将太 (株アサノ大成基礎エンジニアリング)]

(2-1) 地下水観測孔の状態とストレーナータイプが与える流向流速測定結果への影響

都築 孝之 (日本物理探鑛株)
竹内 篤雄 (自然地下水研究所)
宮崎 基浩, 原澤 剛史 (芙蓉地質株)
岩瀬 信行, 五十嵐 慎久 (キタイ設計株)

(2-2) 流動化処理土の硬化促進技術の研究開発

和泉 彰彦, 芝辻 楓雅 (徳倉建設株)
佐藤 陽帆, 金田 一広 (千葉工業大学)

(2-3) 打球探査法の吹付けコンクリートへの適用性の検討

松本 修治, 栗山 和之 (鹿島建設株)
池尻 健 (株セントラル技研)

(2-4) 繊維補強によるセメント使用量削減効果に関する研究：実験的検討から実用化への展望

ガニエフ ジャホンギルベク, 外木場 康将, 麻生 真司 (株奥村組)
酒井 崇之, 中野 正樹 (名古屋大学)

12:00-13:00 昼休み

13:00-14:10 特別講演 [司会：中井 健太郎 (名古屋大学)]

講 師：東京大学 宇宙線研究所

竹田 敦 先生

題 目：なぜ宇宙は物質でできているのか？

—ハイパーカミオカンデが挑む素粒子物理の最前線—

14:10-14:20 休憩

14:20-15:40 第3セッション [司会：堀内 滋人 (株不動テトラ)]

(3-1) クラスタリング技術を援用した極限平衡理論に基づく広域斜面安定解析

渡邊 康介, 今井 哲久, 久住 隆夫 (中部電力株)
森口 周二, 寺田 賢二郎, 野村 怜佳 (東北大学)

(3-2) 豪雨による小崩壊とそれに伴う斜面の不安定化に関する再現解析と対応策の検討 (その 2)

藤井 孝文, 葦沢 竜夫, 河合 亮典 (大日コンサルタント株)
桂川 修, 吉川 高広, 沢田 和秀 (岐阜大学)

(3-3) 東海層群の地質特性と表層崩壊の関連性

—中央自動車道切土のり面のリスク評価と予防保全への取り組み—

西上 大二郎, 山崎 充, 岡戸 宏徳 (中日本ハイウェイ・エンジニアリング名古屋株)
上野 慎也 (中日本高速道路株)
小島 淳一 (株アイコ)

(3-4) 南海トラフ巨大地震を想定した地層構成の異なるため池の耐震性検討

野瀬 康平, 中井 健太郎 (名古屋大学)
今井 健太郎, 肥前 大樹 (海洋研究開発機構)
高橋 成実, 水井 良暢 (防災科学技術研究所)
久保 栞, 三好 正明, 金田 義行 (香川大学)

15:40－15:50 休憩

15:50－17:10 第4セッション [司会：酒井 崇之（名古屋大学）]

(4-1) 性能の異なる複数センサによる地盤常時微動計測の可能性検討

永坂 英明（中日本建設コンサルタント(株)）

坪井 誠治（東海テクノセンター(株)）

吉川 高広， 沢田 和秀（岐阜大学）

(4-2) ダウンザホールハンマー掘削機械の計測データに基づく杭支持層評価

渡邊 直人（株ケー・エフ・シー）

山本 拓治（一般財団法人先端建設技術センター）

阿波 宏司（アールシーアイ(株)）

新保 泰輝（石川工業高等専門学校）

(4-3) 味噌川ダム堤体基礎の間隙水圧の評価

櫻井 彰大， 佐藤 英一（(独)水資源機構）

(4-4) 紀勢道4車線化事業における BIM/CIM の取り組み

甲斐 リサ， 上野 慎也， 藤岡 一頼， 長濱 正憲（中日本高速道路(株)）

17:10－17:20 休憩

17:20－17:30 表彰式

17:30－17:40 閉会挨拶 建設コンサルタンツ協会中部支部 支部長 牧村 直樹

18:00－ 懇親会 @レストラン シェ・ジロー（要事前申し込み，定員 50 名）

【参加申し込み方法】

申込締切：令和8年5月26日（火）

- 下記 URL のホームページ（地盤工学会中部支部）にて、本行事申込フォームに必要事項をご記入いただきお申し込みください。（懇親会にご参加の場合も併せてお申し込みください）

<https://jgs-chubu.org/investigation/35chousa/>

- お申し込み後、ご登録のメールアドレス宛に入力内容についてのメールが返信されますのでご確認ください。メールが届かない場合は、支部事務局までお問い合わせください。
- 返信メールを確認後、銀行振込または現金書留にて令和8年5月26日（火）までに報告会の参加費のみを払い込みください（注意：懇親会参加費は当日受付にて支払い）。参加費をお支払いの際は必ず連絡担当者のご所属・お名前をご記載ください。入金確認後、本行事の参加方法（5月29日（金）前後を予定）をメールにてご案内いたします。なお、領収書については、参加費の払い込み控えをもって領収書としていただくことも可能であることから、希望の方のみ送付させていただきます（詳細は参加方法のご案内の際にお知らせいたします）。

銀行振込の場合（振込先） 三井住友銀行名古屋支店 普通口座 0921947

公益社団法人地盤工学会中部支部

現金書留の場合（郵送先） 〒460-0008 名古屋市中区栄二丁目9番26号 ポーラビル 8F

公益社団法人地盤工学会中部支部

- お申し込み前に送金いただくことは、トラブルの原因となりますのでお断りしております。
- 参加費お支払い後のキャンセルはお断りしております。ただし、代理の方のご参加は可能でございますので、下記問合せ先までご連絡ください。
- 申込フォームにて申込みされますと、参加費のご入金手続きをされなくてもキャンセルとはなりません。ご入金前にキャンセルされたい場合は、下記問合せ先までご連絡ください。
- 申込時にご記入いただいた個人情報は、本行事に関するお知らせ及び行事運営の目的にのみ使用します。

【CPD 受講証明書】

- 建設系 CPD 協議会加盟の団体所属の方で、ご所属団体の CPD 受講証明書書式が必要な場合は、ご所属先団体の書式に必要事項をご記入の上、当日ご持参ください。建設系 CPD 協議会加盟団体 CPD 申請書・受講証明書は当方にて当日準備いたします。受講証明書の申請者情報欄ご記入の上、登録先の団体に申請ください。

※ 注 意： 建設系 CPD 協議会加盟の団体においては、行事で得た CPD ポイントの相互付与に関して団体により異なる取扱いをされることがあります。地盤工学会の行事で得た G-CPD ポイントを他団体へポイント登録を申請される方は、その団体における CPD ポイントの登録運営規則を確認されたうえで申請されるようお願いいたします。

【お問い合わせ先】

公益社団法人 地盤工学会中部支部

住所：〒460-0008 名古屋市中区栄二丁目9番26号 ポーラビル 8F

電話：052-222-3747 E-mail：jgseminar@chubushibu.jp

【会 場】名古屋大学 ES 総合館 1 階 ES ホール

地下鉄名城線名古屋大学駅 ③番出口すぐ (<https://www.engg.nagoya-u.ac.jp/access/>)



開催建物近影（報告会会場は建物 1F）